

令和5年度 事業報告

I 法人の概要

(1) 建学の精神

『誠実・勤勉を心がけ、豊かな教養とより深い人間性の育成を目指す』

(2) 設置する学校等

英真学園高等学校 全日制課程 普通科

【教育目標】

生徒一人ひとりの個性・人格を尊重した学習指導・生徒指導を本校教育の基本とし、人権尊重の精神・ゆたかな心・創造的な知性を持ち、自ら考え自らを律することのできる生き生きとした生徒を育てる。

【校訓】

- ・立志 まず目的を立て、その目的を成し遂げようと決意すること。
- ・自立 他との協調関係の中、他に頼らず独り立ちすること。
- ・誠実 まごころをもって人に接し、事にあたること。
- ・勤勉 事にあたっては、怠惰に流されず、一心にはげむこと。

(3) 設置のコース（令和6年度）

1年（令6年入学生）	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コース	
2年（令5年入学生）	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コースⅠ類	総合進学コースⅡ類
3年（令4年入学生）	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コースⅠ類	総合進学コースⅡ類

(4) 学費および生徒数等

i) 学費

受験料	入学金	授業料（年間）
20,000円	200,000円	576,000円

ii) 募集人員（令和6年度入試）

募集人員	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コース
300	50	60	190

iii) 入学者数（令和6年度）

入学者数	文理特進コース	情報進学コース	総合進学コース
203	31	34	138

iv) 在籍者数 (令和6年5月1日現在)

学年	在籍計	文理特進	情報進学	総合進学	
1年	203	31	34	138	
		文理特進	情報進学	総合進学Ⅰ類	総合進学Ⅱ類
2年	200	30	39	34	97
3年	201	50	47	28	76
合計	604				

(5) 役員の概要 役員の定数等 (令和6年4月1日現在)

理事 7名	一号理事	吉田進彦	常勤 (校長)
	二号理事	高村順久	非常勤
		鄭盛旭	非常勤
	三号理事	神子和良	常勤 (理事長) *代表権あり
永島治典		非常勤	
四号理事	坪田浩行	常勤 (常務理事) *代表権あり	
	吉川多賀子	非常勤	
	大西暁	非常勤	
監事 2名	中瀬和幸	非常勤	

(6) 評議員の概要 (令和6年4月1日現在 16名)

一号評議員	教職員から互選された者	3名
二号評議員	卒業生の中から理事会で選任した者	3名
三号評議員	学識経験者から理事会で選任した者	4名
四号評議員	法人の理事	5名
五号評議員	教頭	1名

一号	宮原亮平	三号	西尾喜美子
一号	辻聖佳	三号	内田準吉
一号	小林千弘	四号	吉田進彦
一号	欠員	四号	神子和良
二号	笹田真由美	四号	永島治典
二号	古谷邦恵	四号	坪田浩行
二号	工藤慶子	四号	吉川多賀子
三号	高村順久	五号	坂原佳京
三号	鄭盛旭		

(7) 教職員の概要 各年度5月1日現在

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	備 考
(管理職)						
校 長	1	1	1	1	1	H30～R3 川坂昌裕 R4～吉田進彦
副 校 長						
教 頭	2	2	1	1	1	H30～吉田進彦・坂原佳京 R4～坂原佳京
事 務 長	1	1	1	1	1	H28～坪田浩行
(教育職員)						
常 勤	5 1	5 3	5 4	4 8	4 5	R06 教諭(3 6) 養護教諭(2) 常勤講師(6) 教育相談(1) *校長、教頭を含まない
非 常 勤	1 6	1 8	1 3	1 0	1 0	R06 非常勤講師(8) 外国語実習助手(2)
(事務職員)						
常 勤	5	4	4	4	4	R06 事務長を含まない
非 常 勤	3	3	3	2	3	
非常勤用務員						
教職員計	7 9	8 2	7 7	6 7	6 5	

II 教 育

新型コロナウイルス感染症の位置付けが、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行し、個人の選択を尊重した自主的な取り組みをベースとした対応に変わったとは言え、完全に感染拡大が収束したと断言できず、加えてインフルエンザに感染する者が例年になく増加した1年であった。

この様な状況下であったが、理事長が発信し続ける「個性や違いを認めて支え合う学園」「他人を思いやる心豊かな学園」「毎日を肯定的に受け止め、創造力豊かな学園」を目指して、校長以下教職員は、本校の教育目標の理念である『一人ひとりを大切に』に基づき、日々の教育活動に取り組み、英真教育に一定の成果を上げたと評価できる。

その中で、中学卒業生徒の減少により、生徒募集担当教員の努力にもかかわらず非常に厳しい事実が本校を襲い、令和3年度入試から連続で募集人員を割り込んでしまった。(VI入学試験実績を参照)

①新コース設立承認

令和5年度事業計画で掲げた、新コース設立については以下のとおりである。

特色ある学校づくりのために、時代に対応する新コース設立を検討するプロジェクトチーム(座長：坂原佳京教頭・生徒募集対策本部長)が結成され、議論が重ねられた。

議論の中で、現在の3コース制はそれなりの成果を上げているが、生徒・保護者の期待に応えられているかを考えると、これで十分とは言えないとの結論に達した。

この結論をもとに「文理特進コース」は「特進コース」に、「総合進学コース」は「総合コース」と3コース制当初の名称に変更し、「情報進学コース」は募集を停止の上、新コース「マンガ・イラストコース」を設立することとなった。

新コース「マンガ・イラストコース」は、今までの小中学校での学校生活に十分満足できてい

ない生徒に居場所を提供し、または自己の潜在的能力を発揮させるために設置することを主目的とするもので、プロの漫画家を育成することを目的にするものではない。しかし、過去の本校卒業生の資質等を見ると、将来的には、プロの漫画家が輩出することは想定できる。

しかし、学内には、このコースを担当するに十分な能力・技能を持った教員はいないので、プロジェクトチーム座長である坂原佳京教頭の努力により、(株)Manga Go（代表取締役藤谷英志氏）およびマンガ専門校「日本マンガ塾」（代表取締役信濃裕馬氏）と新コース設立について連携するための交渉が継続され、令和6年1月12日にコンサルタント契約を結んだ。

なお、「マンガ・イラストコース」が文部科学省の普通科改革支援事業に認定されれば、支援金が支給されるので、改めてコンサルタント契約をする。この場合は、コースではなく新学科として再スタートすることになる。ただ、支援事業の認定を受けるためには複雑な手続きが必要となるため、「マンガ・イラストコース」が軌道に乗ってからの書類提出を予定している。

以上の内容を令和6年1月26日の理事会において、「マンガ・イラストコース」設置とコンサルタント契約について報告・説明があった。意見交換で一人の理事から、「コンサルタント料が高額であるが、予算に計上されていない項目である」と指摘があったが、理事長から「情報進学コースの募集を停止することになるので、現在のコンピューター教室のハイスペックなコンピューターを入れ替える必要がなくなる。その費用を充てることができる」と説明があった。その後、全会一致で新コース設置及びコンサルタント契約が承認された。

以上の経過の後、令和6年3月19日の職員会議において、「特進コース」「マンガ・イラストコース」「総合コース」の新教育課程表が承認された。

続いて、令和6年3月29日の評議員会においても、新コース設置が承認され、同日の理事会・評議員会において新教育課程表が承認された。

②ハッチ・プログラム

令和7年度からの特進コース「アサーティブクラス」において、コミュニケーション力を伸ばすことを目的に、その中心にハッチ・プログラムが置かれている。しかし、今までのハッチ・プログラム実施でどのような成果が出ているのか総括がなされていないと考える。

③探究の時間

令和4年度事業報告でも述べたが、学習指導要領では、探究の時間の目標を「探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す」とされているが、令和5年度も学園財政の厳しさからこの目標達成のための十分な予算を組めなかった。

④ICT化の環境整備

ICT化に取り組んで7年になるが、これで十分というわけではない。ICT教育を前進させる通過点の年であったと考える。

(参考) 校長発信の令和5年年度目標および重点目標

【年度目標】

- 1) アジア諸国に興味関心を持つ
多様な文化・言語に触れる
- 2) 情報発信力を高め、協働的問題解決を図る力を養う
みずからの意見を表現・発信する力、意見を聴き理解する力を養う
- 3) アジアの中の日本を考える
公共心や模範意識、人権への鋭い感受性と他者を尊重し、お互いを高め合う力を養う
- 4) 主体的・対話的で深い学びの探求
学びへの興味と努力し続ける意思を喚起し、指導方法を不断に見直し改善する

【重点目標】 ◆意識を変える◆

- 1) 教職員自身の意識改革
 - ① 締切・時間に対する意識
 - ② 勤怠に関する意識
 - ③ 働き方改革に対する意識
 - ④ 学校からの指示に対する意識
 - ⑤ 予算（お金）に対する意識
- 2) 生徒に対する意識改革
 - ① 人権に対する意識
 - ② 転退学（教科の評価）に対する意識

(1) 転学・退学者数について

年度	学年	年度当初	年度末	転学	退学	転退率
R05	1年	217	199	15	3	8.3%
	2年	223	202	16	5	9.4%
	3年	219	217	1	1	1.0%

令和5年度第1学年退学者3名の内1名は除籍

(2) 進路決定者数等について

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大学・短期大学	125	165	126	115
専門学校等	72	80	83	60
進学者数計	197	245	209	175
就職者数計	40	33	35	27
浪人	5	6	5	5
未決定者	10	9	12	10
進路未決定率*	4.0%	3.1%	4.6%	4.6%

Ⅲ 施設設備

(10万円以上の修理・修繕等) 合計 ¥1,204,940-

<本館関係> ¥385,000

・体育館ワイヤー巻上機修繕 ¥385,000-

<南館関係> ¥385,000-

・電話配線修繕 ¥385,000-

<教科> ¥434,940-

・プロジェクター(3台) ¥434,940-

Ⅳ 財務の概要

(%)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
教育活動収支差額比率	4.3	11.0	5.0	△0.8	△4.2
経常収支差額比率	4.3	11.0	5.0	△0.8	△4.2
事業活動収支差額比率	4.3	14.5	5.0	△0.8	△4.2
学生生徒等納付金比率	46.5	50.7	50.3	48.1	49.1
寄付金比率	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0
補助金比率	50.6	45.0	47.2	49.2	48.0
人件費比率	69.9	65.8	69.3	68.8	74.7
教育研究経費比率	21.2	18.1	21.1	27.7	23.3
管理経費比率	4.6	5.9	4.6	4.3	6.1
借入金等利息比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
基本金組入率	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0
減価償却額比率	6.7	6.8	7.7	7.5	8.4
人件費依存率	150.3	129.7	137.7	142.9	152.2
基本金組入後収支比率	95.7	85.5	95.0	109.0	104.2